



のびのびひろば

開催日 毎週 火・水・金曜日
時間 9:30～14:30
場所 みなみ保育園

保育園の子育て支援室を開放しています。
子育て仲間を誘ってゆったり過ごしてくださいね。
室内のおもちゃは自由に使えます。

乳幼児に多い感染症

咽頭結膜熱

- 症状
- ・高い熱が4～5日続く
- ・喉(咽頭)に炎症が起こる
- ・目が充血して、目やにや涙が増える

感染力が強く、飛沫だけでなく目やにも感染源となるため、家庭では共有のタオルなどを介して感染が広がります。

- 注意すること
- 発熱から目の充血などが治まってから2日経過していること。

季節の草花

ムクゲ

7月から10月頃までの、長い期間、花を咲かせるムクゲ。白やピンク、紫色など、花色が豊富で、中には八重咲きの品種もあります。ムクゲの仲間は、雌しべの周りに雄しべがくっついていることが特徴。街中でもよく目立つ花なので、観察してみてください。



3つのポイントで食中毒を防ぐ！

夏は気温や湿度が高くなりますし、レジャーでバーベキューなど、普段とちがう環境で調理したり食べたりする機会が増えます。そのため、夏は食中毒が増えます。ご家庭でも、3つのポイントを守って食中毒を防ぎましょう。

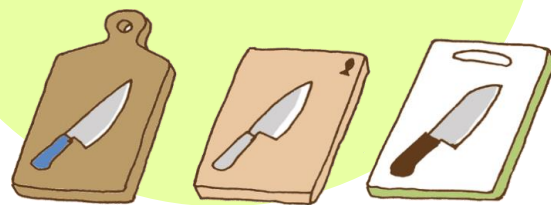
ポイント1

生の肉、魚は要注意！

トングなどの調理器具分けていますが

生の魚に触れた手や調理器具を介して、食中毒が広がる危険があります。

バーベキューでは、生肉に触れたはしやトングで、焼きあがった野菜を取り分けたために、食中毒を起こしたケースがあります。



- 調理器具、特にまないたと包丁は使うたびによく洗う
- 生肉、生魚を扱った調理器具は、洗って熱湯をかけてから、ほかの食材に使用する。肉用、魚用、野菜用と分けられればベスト
- 調理前はもちろん、調理中も生ものに触れたらよく手を洗う

ポイント2

菌はあっという間に増える

夏場は、「すぐに冷蔵庫」に入れて

食中毒菌は温かい場所を好み、どんどん増えます。買ったものや残り物は、すぐに冷蔵庫にしまいましょう。シチューやカレーは温かい状態で放っておかず、鍋ごと水につける、小分けにするなどで冷やします。



- 買い物から帰ってきたら、生ものはすぐに冷蔵庫に！
- 残り物はすぐに冷まして冷蔵・冷凍する。再冷凍はしない。

ポイント3

中途半端な加熱はNG！

表面だけの加熱では細菌は死滅しません

細菌やウイルスを体内に入れないために、十分に加熱して細菌を死滅させます。ただ、きのこやふぐなどに含まれる自然毒は、加熱しても防げません。「加熱すればOK」という過信は禁物です。



- 芯までしっかり加熱する（中心の温度が75度以上の状態を1分キープ）
- レンジで加熱するときとはときどき混ぜて、まんべんなく加熱する。

おすすめの絵本

ぶーちゃんとおにいちゃん

作：島田 ゆか
出版社：白泉社



ぶーちゃんはおにいちゃんが大好き！だからいつもおにいちゃんのまねばかり。でもおにいちゃんは、しつこいぶーちゃんにうんざり。ところが…。子供から大人まで幅広く支持されている大人気作家の絵本です。

おばけのバーバパパ

作：アネット・チソン
タラス・ティラー
訳：山下明生
出版社：偕成社



庭で、花に水をやっていたフランソワ。バーバパパはね、その庭で生まれたんですよ。（土のなかでだんだん大きくなってね！）さいしょ、フランソワはびっくりしたけど、すぐバーバパパと仲良しになりました。でも大きすぎて家においとくわけにいかないわ、とママがいうので、しかたなく動物園にいくことに。動物園で、姿を自由に変えられることに気づいたバーバパパは、ほかの動物と遊びたくて檻をぬけだします……

青空が広がる夏の日差しを感じる季節になりました。夏ならではの水遊びやシャボン玉遊び、涼し気な感触遊びなどを通して、お子さんと一緒に夏の楽しさを満喫してみるのもいいですね。晴れた日には戸外遊びがより一層楽しくなりますが、熱中症や日焼け対策をしっかりとおこないながら、安全に遊べるよう心がけましょう。また、暑さが厳しくなる日もありますので、室内での過ごし方も工夫しながら元気に夏を乗り越えていきましょう。